



2021年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 花王株式会社
 コード番号 4452 URL www.kao.com/jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長谷部 佳宏
 問合せ先責任者 (役職名) 会計財務部門 管理部長 (氏名) 牧野 秀生 TEL 03-3660-7111
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 2021年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	675,179	1.2	70,551	△5.3	74,133	0.5	53,455	3.7	52,538	3.8	79,988	94.2
2020年12月期第2四半期	667,158	△7.5	74,484	△13.8	73,730	△13.8	51,543	△11.5	50,600	△11.7	41,191	△18.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	110.12	110.12
2020年12月期第2四半期	105.21	105.20

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	1,620,608	932,673	915,770	56.5	1,932.50
2020年12月期	1,665,616	938,194	923,687	55.5	1,920.56

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	70.00	—	70.00	140.00
2021年12月期	—	72.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	72.00	144.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,430,000	3.5	177,000	0.8	177,000	1.7	127,000	0.7	267.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	475,000,000株	2020年12月期	482,000,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	1,121,651株	2020年12月期	1,054,019株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	477,079,090株	2020年12月期2Q	480,918,350株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】5ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する概要	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(7) 継続企業の前提に関する注記	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する概要

注：以下、()付きの数字はマイナス表示であり、「実質」とは為替変動の影響を除く増減率を表示しています。

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	税引前 四半期 利益 (億円)	四半期 利益 (億円)	親会社の 所有者に 帰属する 四半期利益 (億円)	基本的 1株当たり 四半期利益 (円)
2021年12月期 第2四半期累計期間	6,752	706	10.4	741	535	525	110.12
2020年12月期 第2四半期累計期間	6,672	745	11.2	737	515	506	105.21
増減率	1.2% 実質 (0.6)%	(5.3)%	—	0.5%	3.7%	3.8%	4.7%

新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会・経済活動や世界の人々の暮らしに引き続き大きな影響をもたらしています。世界各国でワクチン接種が広がりを見せる中、感染症の拡大は一進一退を繰り返しており、経営環境は依然として不透明な状況が続きました。

2021年1月から6月において、当社グループの主要市場である日本のトイレットリー市場は、感染症拡大により昨年に発生した衛生関連製品を中心とした需要拡大の反動を受け、前年同期を下回りましたが、一昨年の同期を上回る水準で推移しています。一方、化粧品市場は、各地で続いた緊急事態宣言等の影響が大きく、市場は前年同期を下回り回復していません。

このような中、売上高は、前年同期に対して1.2%増の6,752億円（実質0.6%減）となりました。営業利益は706億円（対前年同期39億円減）となり、税引前四半期利益は741億円（対前年同期4億円増）となりました。四半期利益は535億円（対前年同期19億円増）となりました。

当第2四半期の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替の換算レートは、次のとおりです。

	第1四半期 1-3月	第2四半期 4-6月
米ドル	105.96円 [108.95円]	109.47円 [107.54円]
ユーロ	127.74円 [120.18円]	131.90円 [118.41円]
中国元	16.35円 [15.61円]	16.95円 [15.18円]

注：[]内は前年同期の換算レート

〔セグメント別の概況〕

第1四半期で実施した報告セグメントの変更の概要は以下の通りです。（参照P.13（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 1. セグメント情報）。

1. ハイジーン&リビングケア事業を新設し、従来、ファブリック&ホームケア事業に分類していたファブリックケア製品、ホームケア製品に加え、ヒューマンヘルスケア事業のサニタリー製品を組み入れています。
2. ヘルス&ビューティケア事業を新設し、従来、スキンケア・ヘアケア事業に分類していたスキンケア製品、ヘアケア製品に加え、ヒューマンヘルスケア事業に分類されていたパーソナルヘルス製品を組み入れています。
3. ライフケア事業を新設し、従来、ファブリック&ホームケア事業に分類されていた業務用衛生製品に加え、ヒューマンヘルスケア事業に分類されていた健康飲料を組み入れています。
4. 上記1～3のセグメントの再編により、前年同期の売上高及び営業利益を組み替えて表示しています。

セグメントの業績

	売上高				営業利益				
	第2四半期累計期間		増減率		第2四半期累計期間				増減 (億円)
	2020年 12月期 (億円)	2021年 12月期 (億円)	(%)	実質 (%)	2020年12月期		2021年12月期		
				(億円)	利益率 (%)	(億円)	利益率 (%)		
ハイジーン&リビングケア事業	2,421	2,348	(3.0)	(4.1)	361	14.9	260	11.1	(100)
ヘルス&ビューティケア事業	1,760	1,740	(1.2)	(2.6)	283	16.1	263	15.1	(20)
ライフケア事業	233	249	6.6	6.5	13	5.6	16	6.3	3
化粧品事業	1,096	1,106	0.9	(1.5)	(49)	(4.5)	(5)	(0.4)	44
コンシューマープロダクツ事業	5,511	5,442	(1.2)	(2.7)	608	11.0	534	9.8	(73)
ケミカル事業	1,354	1,504	11.1	8.0	144	10.6	168	11.1	24
小計	6,864	6,946	1.2	(0.6)	752	—	702	—	(50)
セグメント間消去又は調整	(193)	(194)	—	—	(7)	—	4	—	10
合計	6,672	6,752	1.2	(0.6)	745	11.2	706	10.4	(39)

販売実績

第2四半期累計期間		(億円、増減率%)				
		日本	アジア	米州	欧州	合計
ファブリック&ホームケア製品	2020年	1,311	203	12	—	1,526
	2021年	1,327	197	14	—	1,538
	増減率	1.3	(3.3)	13.3	—	0.7
	実質	1.3	(6.0)	(2.8)	—	0.3
サニタリー製品	2020年	440	454	0	—	894
	2021年	387	422	1	—	810
	増減率	(12.0)	(7.0)	15.1	—	(9.4)
	実質	(12.0)	(11.0)	(0.9)	—	(11.5)
ハイジーン&リビングケア事業	2020年	1,751	657	13	—	2,421
	2021年	1,715	619	14	—	2,348
	増減率	(2.1)	(5.9)	13.3	—	(3.0)
	実質	(2.1)	(9.4)	(2.8)	—	(4.1)
ヘルス&ビューティケア事業	2020年	1,094	148	352	166	1,760
	2021年	1,004	153	383	199	1,740
	増減率	(8.2)	3.7	9.0	19.5	(1.2)
	実質	(8.2)	(0.3)	8.1	9.2	(2.6)
ライフケア事業	2020年	199	0	34	1	233
	2021年	202	0	46	1	249
	増減率	1.8	7.0	34.9	(13.5)	6.6
	実質	1.8	0.3	34.3	(21.3)	6.5
化粧品事業	2020年	791	209	26	70	1,096
	2021年	723	275	26	81	1,106
	増減率	(8.5)	31.2	1.3	15.9	0.9
	実質	(8.5)	22.0	1.6	6.2	(1.5)
コンシューマープロダクツ事業	2020年	3,834	1,015	424	237	5,511
	2021年	3,644	1,047	470	281	5,442
	増減率	(5.0)	3.2	10.7	18.3	(1.2)
	実質	(5.0)	(1.6)	9.5	8.2	(2.7)
ケミカル事業	2020年	555	267	228	304	1,354
	2021年	593	348	224	339	1,504
	増減率	7.0	30.1	(1.8)	11.6	11.1
	実質	7.0	25.4	(2.8)	2.6	8.0
セグメント間売上高の消去	2020年	(170)	(14)	(0)	(9)	(193)
	2021年	(167)	(16)	(0)	(10)	(194)
売上高	2020年	4,219	1,269	652	532	6,672
	2021年	4,070	1,379	693	609	6,752
	増減率	(3.5)	8.7	6.3	14.5	1.2
	実質	(3.5)	3.9	5.2	5.0	(0.6)

注：コンシューマープロダクツ事業は、外部顧客への売上高を記載しており、ケミカル事業では、コンシューマープロダクツ事業に対する売上高を含めています。地域別の売上高は、販売元の所在地に基づき分類しています。

売上高に占める海外に所在する顧客への売上高の割合は、前年同期の39.2%から42.2%となりました。

コンシューマープロダクツ事業

売上高は、前年同期に対して1.2%減の5,442億円（実質2.7%減）となりました。

上半期は、感染症の影響に加え原材料価格上昇により厳しい経営環境が続きました。昨年発生した衛生関連製品を中心とした特需の反動の影響がある中、コアブランドへの集中投資や新しい生活様式に対応するデジタル化の推進、Eコマースの強化等に取り組みました。第2四半期には、積極的にマーケティング施策を展開するとともに、中国で好調が続いていることに加えて欧米の対象市場が回復に向ったこと等もあり、業績は第1四半期に比べ好転しました。

以上の結果、日本の売上高は、前年同期に対して5.0%減の3,644億円となりました。

アジアでは、売上高は3.2%増の1,047億円（実質1.6%減）となりました。

米州の売上高は、10.7%増の470億円（実質9.5%増）となり、欧州の売上高は、18.3%増の281億円（実質8.2%増）となりました。

営業利益は、534億円（対前年同期73億円減）となりました。

当社は、【ハイジーン&リビングケア事業】、【ヘルス&ビューティケア事業】、【ライフケア事業】、【化粧品事業】を総称して、コンシューマープロダクツ事業としています。

【ハイジーン&リビングケア事業】

売上高は、昨年発生した需要拡大の反動の影響が大きく、前年同期に対し3.0%減の2,348億円（実質4.1%減）となりました。

ファブリックケア製品は、日本では、コロナ禍における清潔意識の高まりとともに、衣料用洗剤の改良品を発売し、売り上げ及びシェアを伸ばしました。

ホームケア製品は、日本では台所用漂白剤や住居用洗淨剤等の衛生関連製品が、昨年に比べ市場全体が縮小し、売り上げが減少する中、シェアは伸長しました。アジアでは引き続き好調に推移しました。

サニタリー製品は、生理用品「ロリエ」は中国で好調に売り上げを伸ばしましたが、日本では特需の反動の影響を受け、売り上げは減少しました。ベビー用紙おむつ「メリーズ」は、インドネシアでは順調に推移しましたが、中国では前年同期を下回りました。

営業利益は、260億円（対前年同期100億円減）となりました。

【ヘルス&ビューティケア事業】

売上高は、衛生関連製品を中心に、昨年発生した需要拡大の反動が影響したことで、前年同期に対して1.2%減の1,740億円（実質2.6%減）となりました。

スキんケア製品は、日本ではハンドソープや手指消毒液等の衛生関連製品の市場が大きく縮小し、売り上げは減少しました。米州では前年同期の高い需要の反動が続きました。

ヘアケア製品では、マス向け製品は、日本でのヘアカラー等の市場回復が遅れており、売り上げは減少しました。またヘアサロン向け製品は、欧州では第1四半期にロックダウンの影響を受けましたが、その後の市場の回復や米国の「Oribé（オリベ）」が、Eコマースを中心に好調に推移したこと等により、売り上げは伸長しました。

パーソナルヘルス製品の売り上げは、巣ごもり需要により入浴剤は好調に推移しましたが、インバウンド需要が減少した影響を受け、前年同期をわずかに下回りました。

営業利益は、263億円（対前年同期20億円減）となりました。

【ライフケア事業】

売上高は、前年同期に対して6.6%増の249億円（実質6.5%増）となりました。

業務用衛生製品は、日本では感染症拡大が続き、衛生管理や感染症対策が特に必要な医療関連施設や飲食店等で、手指消毒液等の継続的な需要があり、売り上げは伸長しました。米州では顧客シェアの拡大や対象業界の景気回復によって、売り上げは前年同期を大きく上回りました。

健康飲料は、特定保健用食品「ヘルシア」が、緊急事態宣言が継続していること等で市場が縮小し、売り上げは前年同期に比べて減少しました。

営業利益は、増収効果により16億円（対前年同期3億円増）となりました。

【化粧品事業】

売上高は、前年同期に対して0.9%増の1,106億円（実質1.5%減）となりました。

日本の売り上げはインバウンド需要の消滅や緊急事態宣言継続等による市場回復の遅れにより、特にメイクブランドが苦戦し前年同期を下回りましたが、第2四半期は積極的なマーケティング施策により、前年同四半期を上回りました。アジアでは中国で「フリープラス」や「キュレル」がEコマースで引き続き好調に推移し、売り上げを大きく伸ばしました。また欧州では、ロックダウンの緩和による市場回復に加え、Eコマースの強化により、売り上げは伸長しました。

営業利益は、5億円の損失（対前年同期44億円増）となりました。

ケミカル事業

売上高は、前年同期に対して11.1%増の1,504億円（実質8.0%増）となりました。

対象業界の回復を捉えるとともに、油脂誘導体製品等が引き続き好調に推移しました。

油脂製品では、殺菌や洗浄用途等の油脂誘導体製品が堅調に推移したことに加えて、天然油脂価格の上昇に伴う販売価格の改定に継続して努めたこともあり、売り上げは伸長しました。

機能材料製品は、自動車関連分野等での需要回復の動きを着実に捉えて、売り上げは伸長しました。

スペシャルティケミカルズ製品では、トナー・トナーバインダーが昨年の市場低迷からは回復傾向にあり、半導体関連製品は堅調に推移しました。

営業利益は、168億円（対前年同期24億円増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大や原材料価格上昇の懸念等により不透明な経営環境が続くことが予想されますが、今期からスタートした5ヵ年にわたる花王グループ中期経営計画「K25」の戦略を着実に実行し、公表数値の達成を目指していきます。従いまして、2021年5月7日に公表した連結業績予想は変更していません。

なお、連結業績予想に用いた主な為替の換算レートは、108円/米ドル、127円/ユーロ、16円/中国元です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	353,176	296,127	(57,049)
営業債権及びその他の債権	200,087	183,046	(17,041)
棚卸資産	197,641	220,523	22,882
その他の金融資産	7,257	6,729	(528)
未収法人所得税	2,085	5,864	3,779
その他の流動資産	18,150	18,084	(66)
流動資産合計	778,396	730,373	(48,023)
非流動資産			
有形固定資産	430,914	432,551	1,637
使用権資産	149,543	142,350	(7,193)
のれん	177,031	181,295	4,264
無形資産	48,256	49,957	1,701
持分法で会計処理されている投資	8,657	8,450	(207)
その他の金融資産	23,608	24,709	1,101
繰延税金資産	42,274	43,599	1,325
その他の非流動資産	6,937	7,324	387
非流動資産合計	887,220	890,235	3,015
資産合計	1,665,616	1,620,608	(45,008)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	215,842	206,847	(8,995)
社債及び借入金	30,465	20,617	(9,848)
リース負債	19,787	19,522	(265)
その他の金融負債	6,571	2,022	(4,549)
未払法人所得税等	28,109	22,541	(5,568)
引当金	1,811	1,500	(311)
契約負債等	23,098	29,020	5,922
その他の流動負債	99,721	84,979	(14,742)
流動負債合計	425,404	387,048	(38,356)
非流動負債			
社債及び借入金	97,229	106,455	9,226
リース負債	126,725	119,678	(7,047)
その他の金融負債	7,862	7,769	(93)
退職給付に係る負債	51,858	48,409	(3,449)
引当金	9,175	9,290	115
繰延税金負債	4,584	4,653	69
その他の非流動負債	4,585	4,633	48
非流動負債合計	302,018	300,887	(1,131)
負債合計	727,422	687,935	(39,487)
資本			
資本金	85,424	85,424	—
資本剰余金	106,618	105,448	(1,170)
自己株式	(3,865)	(3,970)	(105)
その他の資本の構成要素	(43,376)	(17,953)	25,423
利益剰余金	778,886	746,821	(32,065)
親会社の所有者に帰属する持分合計	923,687	915,770	(7,917)
非支配持分	14,507	16,903	2,396
資本合計	938,194	932,673	(5,521)
負債及び資本合計	1,665,616	1,620,608	(45,008)

(2) 要約四半期連結損益計算書

	注記	前第2四半期	当第2四半期	増減
		連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	
		百万円	百万円	百万円
売上高	1	667,158	675,179	8,021
売上原価		(384,211)	(397,754)	(13,543)
売上総利益		282,947	277,425	(5,522)
販売費及び一般管理費	2	(209,768)	(208,753)	1,015
その他の営業収益		8,298	8,892	594
その他の営業費用		(6,993)	(7,013)	(20)
営業利益	1	74,484	70,551	(3,933)
金融収益		1,027	3,537	2,510
金融費用		(2,989)	(1,297)	1,692
持分法による投資利益		1,208	1,342	134
税引前四半期利益		73,730	74,133	403
法人所得税		(22,187)	(20,678)	1,509
四半期利益		51,543	53,455	1,912
四半期利益の帰属				
親会社の所有者		50,600	52,538	1,938
非支配持分		943	917	(26)
四半期利益		51,543	53,455	1,912
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益 (円)		105.21	110.12	
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		105.20	110.12	

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
四半期利益	51,543	53,455	1,912
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	(256)	512	768
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	(178)	184	362
純損益に振り替えられることのない項目合計	(434)	696	1,130
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額	(9,888)	25,589	35,477
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	(30)	248	278
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	(9,918)	25,837	35,755
税引後その他の包括利益	(10,352)	26,533	36,885
四半期包括利益	41,191	79,988	38,797
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者	40,537	78,380	37,843
非支配持分	654	1,608	954
四半期包括利益	41,191	79,988	38,797

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2020年1月1日残高	85,424	108,715	(4,309)	448	(39,630)	—	6,208
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	(9,628)	(1)	(434)
四半期包括利益	—	—	—	—	(9,628)	(1)	(434)
自己株式の処分	—	(98)	377	(126)	—	—	—
自己株式の取得	—	—	(12)	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	163	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分 の変動	—	130	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	(3)	—	—	(323)
所有者との取引等合計	—	195	365	(129)	—	—	(323)
2020年6月30日残高	85,424	108,910	(3,944)	319	(49,258)	(1)	5,451

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素			非支配持分	資本合計
	合計	利益剰余金	合計		
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2020年1月1日残高	(32,974)	700,839	857,695	13,726	871,421
四半期利益	—	50,600	50,600	943	51,543
その他の包括利益	(10,063)	—	(10,063)	(289)	(10,352)
四半期包括利益	(10,063)	50,600	40,537	654	41,191
自己株式の処分	(126)	(152)	1	—	1
自己株式の取得	—	—	(12)	—	(12)
株式に基づく報酬取引	—	—	163	—	163
配当金	—	(31,260)	(31,260)	(1,254)	(32,514)
子会社に対する所有者持分 の変動	—	—	130	999	1,129
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	(326)	326	—	—	—
所有者との取引等合計	(452)	(31,086)	(30,978)	(255)	(31,233)
2020年6月30日残高	(43,489)	720,353	867,254	14,125	881,379

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2021年1月1日残高	85,424	106,618	(3,865)	268	(49,368)	(0)	5,724
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	25,143	3	696
四半期包括利益	—	—	—	—	25,143	3	696
自己株式の処分	—	(334)	51,682	(78)	—	—	—
自己株式の取得	—	—	(51,787)	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	185	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分 の変動	—	(1,021)	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	(3)	—	—	(338)
所有者との取引等合計	—	(1,170)	(105)	(81)	—	—	(338)
2021年6月30日残高	85,424	105,448	(3,970)	187	(24,225)	3	6,082

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素			非支配持分	資本合計
	合計	利益剰余金	合計		
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2021年1月1日残高	(43,376)	778,886	923,687	14,507	938,194
四半期利益	—	52,538	52,538	917	53,455
その他の包括利益	25,842	—	25,842	691	26,533
四半期包括利益	25,842	52,538	78,380	1,608	79,988
自己株式の処分	(78)	(51,268)	2	—	2
自己株式の取得	—	—	(51,787)	—	(51,787)
株式に基づく報酬取引	—	—	185	—	185
配当金	—	(33,676)	(33,676)	(796)	(34,472)
子会社に対する所有者持分 の変動	—	—	(1,021)	1,584	563
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	(341)	341	—	—	—
所有者との取引等合計	(419)	(84,603)	(86,297)	788	(85,509)
2021年6月30日残高	(17,953)	746,821	915,770	16,903	932,673

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	73,730	74,133
減価償却費及び償却費	42,696	43,641
受取利息及び受取配当金	(931)	(631)
支払利息	1,424	1,020
持分法による投資損益(益)	(1,208)	(1,342)
有形固定資産及び無形資産除売却損益(益)	1,290	1,476
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	35,995	24,710
棚卸資産の増減額(増加)	(17,061)	(16,924)
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	(3,765)	(9,073)
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(2,854)	(4,097)
その他	(14,462)	(18,434)
小計	114,854	94,479
利息の受取額	933	571
配当金の受取額	2,078	2,173
利息の支払額	(1,504)	(1,020)
法人所得税等の支払額	(42,907)	(31,617)
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,454	64,586
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	(7,075)	(6,200)
定期預金の払戻による収入	12,560	7,066
有形固定資産の取得による支出	(35,513)	(32,650)
無形資産の取得による支出	(5,200)	(4,357)
その他	206	1,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	(35,022)	(34,653)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(減少)	(41)	160
長期借入による収入	—	10,091
長期借入金の返済による支出	(24)	(11,159)
社債の償還による支出	(24,936)	(6)
リース負債の返済による支出	(10,403)	(10,700)
自己株式の取得による支出	(13)	(51,787)
支払配当金	(31,286)	(33,708)
非支配持分への支払配当金	(943)	(321)
その他	1,147	808
財務活動によるキャッシュ・フロー	(66,499)	(96,622)
現金及び現金同等物の増減額(減少)	(28,067)	(66,689)
現金及び現金同等物の期首残高	289,681	353,176
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	(2,850)	9,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	258,764	296,127

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。なお、取締役会は、売上高及び営業利益を主要な指標として、各セグメントの業績評価を行っております。

当社グループは、コンシューマープロダクツ事業部門を構成する4つの事業分野（ハイジーン&リビングケア事業、ヘルス&ビューティケア事業、ライフケア事業、化粧品事業）及びケミカル事業部門の5つの事業を基本にして組織が構成されており、各事業単位で、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、「ハイジーン&リビングケア事業」、「ヘルス&ビューティケア事業」、「ライフケア事業」、「化粧品事業」及び「ケミカル事業」の5つを報告セグメントとしております。

当社グループは、2021年1月1日付の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来「化粧品事業」、「スキんケア・ヘアケア事業」、「ヒューマンヘルスケア事業」、「ファブリック&ホームケア事業」及び「ケミカル事業」の5区分としていた報告セグメントを、「ハイジーン&リビングケア事業」、「ヘルス&ビューティケア事業」、「ライフケア事業」、「化粧品事業」及び「ケミカル事業」の5区分に変更しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報告セグメント		主要製品	
コンシューマー プロダクツ事業	ハイジーン&リビングケア事業	ファブリックケア製品	衣料用洗剤、洗濯仕上げ剤
		ホームケア製品	台所用洗剤、住居用洗剤、掃除用紙製品
		サニタリー製品	生理用品、紙おむつ
	ヘルス&ビューティケア事業	スキんケア製品	化粧石けん、洗顔料、全身洗浄料
		ヘアケア製品	シャンプー、コンディショナー、ヘアスタイリング剤、ヘアカラー、メンズプロダクツ
		パーソナルヘルス製品	入浴剤、歯みがき、歯ブラシ、温熱用品
ライフケア事業	ライフケア製品	業務用衛生製品、健康飲料	
化粧品事業	化粧品	カウンセリング化粧品、セルフ化粧品	
ケミカル事業	油脂製品	高級アルコール、油脂アミン、脂肪酸、グリセリン、業務用食用油脂	
	機能材料製品	界面活性剤、プラスチック用添加剤、コンクリート用混和剤、道路用薬剤	
	スペシャルティケミカルズ製品	トナー、トナーバインダー、水性インクジェット用顔料インク、香料	

(2) 報告セグメントの売上高及び業績

前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	242,077	176,010	23,332	109,632	551,051	116,107	667,158	—	667,158
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	19,281	19,281	(19,281)	—
売上高合計	242,077	176,010	23,332	109,632	551,051	135,388	686,439	(19,281)	667,158
営業利益 (又は損失)	36,082	28,313	1,299	(4,919)	60,775	14,379	75,154	(670)	74,484
金融収益									1,027
金融費用									(2,989)
持分法による投資利益									1,208
税引前四半期利益									73,730

(注1) 営業利益 (又は損失) の調整額(670)百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	234,772	173,959	24,867	110,576	544,174	131,005	675,179	—	675,179
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	19,398	19,398	(19,398)	—
売上高合計	234,772	173,959	24,867	110,576	544,174	150,403	694,577	(19,398)	675,179
営業利益 (又は損失)	26,048	26,296	1,571	(477)	53,438	16,756	70,194	357	70,551
金融収益									3,537
金融費用									(1,297)
持分法による投資利益									1,342
税引前四半期利益									74,133

(注1) 営業利益 (又は損失) の調整額357百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
	百万円	百万円
広告宣伝費	36,051	35,317
販売促進費	23,227	21,057
従業員給付費用	74,069	77,027
減価償却費	9,209	9,243
償却費	4,347	4,202
研究開発費	28,885	29,593
その他	33,980	32,314
合計	209,768	208,753

(7) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。